

皆さん、おはようございます。6週間の夏休みが終わり、実りの秋と言われる2学期が始まりました。

この夏は1年遅れての東京オリンピックが開催され、日本選手が大いに活躍し、特に、10代の若い選手がメダルを獲得するなど、我々に大きな感動を与えてくれました。その後、梅雨を思わせるように、前線が日本列島に停滞し、各地で大雨をもたらし、河川の氾濫や土砂崩れなどの大きな災害が起きました。今日は「防災の日」です。台風シーズンはまだ続きますので、暮らしている地域の避難所やハザードマップを確認するなど、皆さんも十分に気をつけてください。そして、8月24日から始まったパラリンピックには、深谷市に関連のある選手が3名参加していますので、活躍を楽しみにしている人もいますかと思えます。

さて、ご存じのとおり、今、日本は新型コロナウイルス感染の第5波の中にあり、極めて深刻な状況となっています。埼玉県をはじめ21の都道府県に「緊急事態宣言」、12の県に「まん延防止等重点措置」が出されるなど大変危機的な状況です。若い人は感染しにくい、あるいは感染しても症状が出にくいと言われていた新型コロナウイルスですが、デルタ株の出現により、状況が大きく変わりました。感染症を専門にしている、ある医師は、デルタ株について、全く違う種類のウイルスだと言っています。この新たなウイルスの出現により、日本で心配されていることは学校での感染拡大です。特に高校生は通学範囲が広いことや、部活動等での他校・他県との交流による感染リスクが高いと言われています。夏休み中の7月26日～8月22日までの4週間で、県立高校では生徒657人に陽性者がでています。このような状況の中での新学期ということで、大変不安な気持ちを持っている人も多いと思いますが、新学期にあたり、学校内での感染を防止するために皆さんにお願いしたいことを話したいと思えます。

要は「基本的な感染拡大防止対策を徹底して欲しい」と言うことです。引き続き、「手洗い・手指の消毒」「人と距離をとる」「自分の体調がよくてもマスクを着用する」「十分な換気」「熱中症防止や運動、食事のために、マスクを外すときは会話を控える」「そもそも熱中症にならないよう栄養・水分・休養を十分にとる」「朝晩の検温・健康観察を継続する」といったことを心掛けてください。発熱等の症状がある場合は、自宅で休養してください。また、同居している家族に、風邪症状等がみられる場合も同じです。高校においても、生徒同士で食事をとった場面での、集団感染が疑われる事例も発生しています。手洗い、うがいは頻繁に行うとともに、食事での会話を控え、会話は食事後にマスクを付けてからするようにしてください。下校途中の寄り道はせず、まっすぐ帰宅してください。まだまだ暑い日が続きます。マスクをしたままでの学校生活や登下校は本当に不快ですが、皆、我慢しています。もしも、校内でマスクをせずに行動する人がいた時、先生に注意を受けてマスクをするのではなく、生徒同士がお互い注意し合うような、学校であって欲しいと願っています。街なかで行動する時もマスクは必要です。これは地域の皆さんの学校に対する信頼にも関わることです。人が集まる駅などの施設で、マスクを外して大声で会話している、高校生を見た地域の方々がどう思うのか、冷静に考えてみてください。

「学校で勉強を頑張っているのだから、マスクを外して会話を楽しむくらいはいいだろう。」と思わないでください。また、「これから部活動を頑張るのだから、移動する時くらいマスクを外してもいいだろう。」とは思わないでください。大げさではなく、皆さん一人ひとりの感染対策が、2学期の学校行事の実施、3年生の就職や進学、各種大会への参加に大きく関係してきます。

しかし、どんなに気を付けていても、先生も生徒もいつだれが感染するかわかりません。ずっと、そういう状況が続いています。SNS 上での、感染者に対する偏見や差別的な発言には、決して同調せず、正しい知識と情報に基づいた行動をしてください。誹謗中傷、差別につながるような言動は絶対にあってはならないし、感染者が出たことによって何か予定が変わっても、その人を責めたりせず、病気なのですから、早く良くなって、一緒に学校生活を送れることを祈りたいと思います。そういう時こそ、お互いがお互いを思いやり、お互いを支え、大切にできるかどうか、問われることになると思います。

そこで、感染リスクを可能な限り低減しつつ、学校教育活動を継続するため、明日から9月10日までの期間、分散登校と家庭学習を併用した授業を行います。午前または午後に登校して3時間の授業を受け、登校していない時間帯に、家庭学習を行います。家庭学習については、出されている課題に取り組んだり、検定試験の予定がある人は、その準備に集中するのもいいでしょう。まとまった時間を読書にあてるのもいいでしょう。与えられた学習をこなすだけでなく、主体的に学ぶ姿勢を身に付ける、それはこれからの大きな財産になると思います。

次に、学年ごとにメッセージを送ります。

3年生の皆さん。希望する進路の実現に向けて、この2学期は本気で勝負する時期です。努力しても、すぐに結果や成果が出ないことがあるかもしれません。それでも、自分の進路実現に向けて、「強い志」を持ち続け、高校生活の集大成として、できる限りの努力をして欲しいと思います。

2年生は、部活動、生徒会・委員会活動など、様々な分野で、3年生からバトンを受け取る時期です。これからの1年間は、2年生が「深商の中心」です。その自覚をもって、様々な分野で、主体性を発揮して欲しいと思います。

1年生は、「高校生としての自分」を確立する時期です。よく「自分探し」という言葉を聞きますが、私は、高校時代は「探す」のではなく、「創る」のが本当なのではないかと考えています。「自分探し」ではなく、「自分創り」です。自分の適性をただ探すのではなく、自分の適性を自らが創りながら気づいていく、その時期が高校1年生だと思います。

当面は、まだ、暑い日があると思います。熱中症にも気をつける必要があります。新型コロナウイルス感染予防のため、制限された学校生活も続きます。しかし、これを受け身で捉えるだけでなく、熱中症や新型コロナ感染リスクから自分で自分を守り、家族や友人を守り、そのうえで、自分の学びを進めるためには、どう努力するのか。あくまで、自らが主体となって、常に自分で意識し、考え、日々行動していく2学期にしてください。

この2学期が、生徒の皆さん一人一人にとって、「実り多い2学期」、「飛躍の2学期」になることを期待し、令和3年度第2学期始業式の校長講話を終わります。